

ディベート・マッチ「中学生の携帯電話」～立論～

「中学生は携帯電話をもってもよいか」〈肯定側〉立論

これから肯定側の立論を始めます。僕たち肯定側は携帯電話のよい点、わるい点について考え、その答えを見つけ出しました。

まず、否定側の方々は、携帯電話はお金がかかると思っていますか。確かに普通に話す分にはお金がかかりますが、月の初めにお金を払っておいて、そのカードの分だけ話せるプリペイドカードというものがあります。このシステムを使えばお金を計画的に使うことができます。

また、公衆電話があるじゃないかと思う人もいるかと思いますが、携帯電話が出回ようになってから、公衆電話の数は減りました。そのため、探すことだけで一苦勞です。みなさんが電話するときはどんなときですか。僕が思うには親への連絡など、できるだけ早い連絡が第一となるときに必要となるのが電話だと思います。そんなときに公衆電話を探している暇はないはずです。

それに僕たち中学生は心身ともに成長しているうえ、電車料金はもう大人と一緒にです。もし、中学生に携帯電話が必要ないということに、単に大人じゃないから、子どもには必要ないということとは言えないのではないのでしょうか。

たぶん未成年で携帯電話を持っているのは高校生、大学生が多いはずです。きっと高校生のときに、その多くの人は手に入れたことでしょう。高校生の電話料金は両親の携帯料金を上回ることがあると思います。

そこで、僕たちはこう考えました。こんなふうになるのは、計画的に、できるだけ節約ということが身についていないためではないだろうか。携帯電話に危険なところは少なからずあります。しかし、小さいうちや小中学生のうちから持っていたら、危ないこと、お金を使いすぎないということが自然に身につくのです。

以上の内容をもちまして、肯定側の立論を終わります。ありがとうございました。

「中学生は携帯電話をもってもよいか」〈否定側〉立論

これから否定側の立論を始めます。僕たちが中学生は携帯電話をもつべきではないという考えを主張する根拠は五つあります。第一の根拠は携帯電話はお金がかかりすぎることで、第二は使い道があまりないこと、第三は差別ができること、第四は悪質なイタズラをしてしまうこと、第五は必要ないという人の意見です。

まず第一の根拠について説明します。携帯電話は通話料などの多額の料金がかかるので、それを親が払うと親に迷惑がかかってしまいます。

次に第二の根拠について説明します。中学生が携帯電話をもっている学校では使えないし一日携帯電話がなくても昔の人は生きてこられたので、あまり中学生には使い道がないと思います。

第三の根拠について説明します。携帯電話は値段が高いので全員が持てるわけではなく差別や仲間はずれなどが出てしまうと思います。

第四の根拠について説明します。中学生は好奇心や怖いもの見たさといった感情が出やすいので、あやしげなサイトにかかわってしまったりイタズラのつもりでイタズラ電話やチェーンメールなどを送ってしまったりするかもしれないので、中学生には携帯電話は必要ないと思います。

最後に第五の根拠について説明します。中学2年生の意見です。パソコンだってメールができるし、普通に家の電話や公衆電話で電話するより携帯電話はつながりがわるい。それにまだ中学生で、いつでもいろんな人と連絡がとれなくてはいけないサラリーマンなどのような状況になるということはあるから必要ないというものです。

以上で否定側の立論を終わります。ありがとうございました。